

月額制のスリムワークサポートでPC管理を刷新。 レッツノートが現場の業務効率化とDX推進を実現。



株式会社フロンティア様

導入時期：2022年1月
導入地域：関西

課題

部署ごとで使用PCが異なり、PC管理業務が煩雑化。複数業者とのやり取りが必要で管理部門の負担が増大

解決策

スリムワークサポートによりレッツノートを導入し、キittingから廃棄まで一括管理。費用も月額制で平準化

“導入以前は部署ごとに異なるPCを使用していることで、調達や管理に多くの手間がかかる要因になっていましたが、スリムワークサポートによりレッツノートの導入が進んだことで運用が非常にシンプルになりました。”

株式会社フロンティア
IT推進本部 主管課長
一色 直也 様

※所属は納入時のものです。

背景

企業再編を進める中でPCの統一、安定供給が急務に

株式会社フロンティア様は薬剤事業、看護・介護事業、福祉事業の複数の事業部門を統合し、B to Cに特化した企業として再編を進められる中、事業部門間で統一化されていなかったIT環境の整備が課題となっていました。特に部署ごとに使用するPCが異なっていたことで、管理業務が煩雑化。PCのキittingや廃棄、調達のたびに複数の業者とのやり取りが必要で、社内IT環境の整備を推進するIT推進本部の負担が増大していました。それに加えて、従来採用していたPCメーカーの供給力にも懸念があり、新たな取引先による安定したPCの供給と効率的な管理体制の構築が急務となっていました。

導入した理由

現場に適したレッツノートのサブスク型サービスに注目

株式会社フロンティア様では、数年前から一部の社用PCでパナソニックのレッツノートを買取で使用していました。軽量かつ頑丈な設計は薬局や介護現場での持ち運びに適しており、故障率の低さも高く評価する中、レッツノートが月額制のサブスクで利用できる「スリムワークサポート」に注目。初期費用がかからず月額制でPC購入の費用を平準化できる点、サポート窓口をパナソニックコネクトで一元化できる点が大きな魅力でした。加えてIT資産情報をWeb上で管理することができるPCマネージドサービスやキittingサービスなど、充実した機能が決め手になり、2022年からスリムワークサポートを利用してレッツノートの導入が始まりました。2025年11月時点で社用PCの約8割をスリムワークサポートで運用されています。

地域社会を支える3事業の総合企業

株式会社フロンティア様は大阪に本社を構え、薬剤事業・福祉事業・ヒューマンケア事業の3つを柱に全国で事業を展開しています。薬剤事業では調剤薬局を全国に展開し、地域の健康を支える役割を担い、福祉事業では車椅子や特殊寝台ベッドなどの介護用品のレンタル・販売、住宅改修サービスを提供。ヒューマンケア事業では、居宅介護支援、訪問介護・訪問看護、デイサービス、住宅型施設など、人と人をつなぐケアサービスを幅広く展開しています。

- 所在地：大阪府大阪市淀川区宮原3-5-36 新大阪トラストタワー 21階
- URL：<https://www.frontier-ph.com/company/>



▲ 株式会社フロンティア様

法人向け PC サブスクリプションサービス「スリムワークサポート」



▲ 軽量かつ頑丈な設計は営業や介護現場での持ち運びに適合（現在はFVの後継モデルFCを検証中）

導入後の効果

管理部門の負担軽減、迅速で安定したPC供給が可能に

スリムワークサポートを導入したことで、キitting・廃棄・調達などの一連のPC運用業務が一本化され、IT推進本部の業務効率化が実現しました。従来は各拠点で購入台数をリスト化し、メーカーごとに異なる調達窓口に見積依頼、社内決裁、各部署の配送手配など煩雑な作業が発生していましたが、現在はワンストップで対応可能になりました。さらに、PCマネージドサービスの利用で拠点ごとの利用状況が把握可能になり、棚卸や資産管理の精度が向上しています。IT推進本部 主管課長の一色 直也様は「現在、PCと使用ユーザーの紐づけまでは進んでいない状況ですが、今後はそれもデータとして取り込み、さらに現場の改善と効率化が進んでいく見込みです。管理部門の負担軽減だけでなく、現場への迅速で安定したPC供給を実現しています」と語ります。

ダウンタイムの少ない安定した運用が可能に

万が一の故障時もパナソニック コネクトに直接修理依頼を行なうことができ、故障したPCのユーザーには、あらかじめ本社に用意している予備機を提供するフローを構築。業務のダウンタイムも大幅に削減しました。また、レッツノートの頑丈性は営業や訪問介護の現場で持ち出すことの多いB to CのシーンでもPC故障のリスクの低減を実現しています。一色様は「現場で



▲ スリムワークサポートによりレッツノートを運用し、PC管理業務を一本化



▲ レッツノートは14.0型を採用（12.4型のSR（写真左）も一部IT推進本部で活用中）

はレッツノートを持参することで、その場でお客様の情報確認や記録入力を可能にするなど、サービス品質の向上につながっています。こうした取り組みを安心した端末とサポートの中でできることは、DX推進の基盤として、今後さらに重要な役割を果たしてくれると期待しています」と語ります。

お客様の声

業務改善や将来のDX推進に大きく貢献

導入以前は部署ごとに異なるPCを使用していることで、調達や管理に多くの手間がかかる要因になっていましたが、スリムワークサポートによりレッツノートの導入が進んだことで運用が非常にシンプルになりました。将来的には全社用PCをスリムワークサポートでの購入に切り替え、さらに効率的な運用を進めたいと考えています。パナソニック コネクトさんにはPC以外のご提案も様々ないただきDX関連のソリューション、定例会の開催など、幅広いサポートをいただいています。こうした取り組みは業務改善や将来のDX推進に大きく貢献しており、今後も継続的なパートナーシップを期待しています（一色様、阿部様）。



株式会社フロンティア

IT推進本部 本部長
竹原 一貴 様
（写真左）

IT推進本部 主管課長
一色 直也 様
（写真中央）

IT推進本部 係長
阿部 汐里 様
（写真右）

※所属は納入時のものです。

導入サービス

・スリムワークサポート

サービス内容：レッツノート「FV」1,169台、
PCマネージドサービス、キitting

